



二年分の 想いを込めた秋まつり 久慈の街を照らす

1/前夜祭会場に並ぶ絢爛豪華な風流山車（右から中組、上組、新町組、本町組） 2/ライトアップされた山車の前で音頭上げ（本町組） 3/横笛で軽快なおはやしを奏でる（中組） 4/今にも動き出しそうな迫力ある虎を背に音頭上げ（巽町組） 5/威勢のいい「セイヤ！オリヤ！」の掛け声が響き渡ります（朋友会） 6/おはやし共演でオリジナルのおはやしを披露（に組） 7/夜空に映える7体の虎 8/無病息災を願って製作された獅子舞の創作みこしと各組のみこしが共演（左から市役所組、県北広域振興局組） 9/銀座放送席前でおはやしを披露（め組） 10/ゴールまであと少し、最後まで頑張っておはやしを引きます（備前組） 11/秋まつりの安全を祈願する権現舞 12/小雨の降る中でも元気に運行（上組） 13/「止まってくださ〜い！」山車の運行をしっかりと指示（新町）



大盛況の前夜祭
9月14日から17日までの4日間、中心市街地で開催された久慈秋まつり。昨年は台風10号被災のため、中止となり、本年の秋まつりは、2年ぶりの開催となりました。
14日によませ土風館を会場に行われた前夜祭には約6300人が来場。久慈秋まつり実行委員会名誉会長の遠藤譲一久慈市長のあいさつに始まり、イベントではおなじみの餅まきは、会場からあふれんばかりの観客で大いに盛り上がりました。
続いて、山車組8団体の音頭上げとおはやしが披露され、みこし組4団体の威勢のいい掛け声が響き渡ると観客は大きな拍手を送り、会場は一体感に包まれました。

